

夢のかけはし

毎朝、登校前に田崎中学校の外周を走り、放課後は中学校近くの肝属川の堤防でスピード練習を行っています。この堤防は車も通らず、追い風・向かい風のどちらの練習にも最適。試合が無い日は、ほとんど毎日練習しています。

小学4年生からテニスを始めたのですが、陸上に興味を持つようになったのもその頃。霧島ヶ丘公園で開催される「かのやローズヒル駅伝」で田崎小学校区のメンバーに選ばれ、田崎中の陸上部と一緒に練習することになったのですが、当時の田崎中の陸上部顧問の先生が行う練習は、敏捷性・バランス感覚などに効果的と言われるラダートレーニングを取り入れ

たもので、初めての体験でした。「先生のもとで陸上の練習をすればきつと瞬発力が付く。テニスが強くなれる」と確信。中学校に入学してすぐ、陸上部に入りました。

あくまでもテニスがうまくなればという思いから始めた陸上でしたが、中学2年生の冬、田崎中が県中学駅伝大会で優勝を果たし、出場した全国中学校駅伝大会では1区を任されることに。「目標だった全国大会。みんなの足を引っ張りたくない。自分がいい流れを作るぞ」と決心し、そこから陸上に対する想いがより強くなっていきました。

その後は、自分でも驚くほど記録が伸び、昨年10月開催のジュニ

次世代を担う10代ランナー

須山 向陽 さん

アオリニック陸上競技選手権大会では、3,000mを8分36秒という自己新記録で4位に入賞しました。

「走る」のは単調でつらいものですが、レース中の駆け引きや走り終わった後の達成感は格別。トップでゴールテープを切った時の周囲の方々の笑顔を見るのも気持ちがいいですね。

次の目標は、高校でのインターハイ優勝。それから県下一周駅伝、都道府県駅伝、国体にも出場し、地元に貢献したいです。

そして将来的には、競技者としても、一人の人間としても、子どもたちの目標になれる選手になりたいと思っています。



【右】1月に広島市で開催された全国都道府県駅伝大会で区間3位入賞(中央) 【左】2月に鹿屋体育大学で行われた体力測定には将来有望な市内中学生アスリートが集められた(左から4人目)

3月19日(火)9時5分からFMかのやに須山 向陽 さんが出演

感謝を胸に走り続ける!

平成15年生まれ、川東町在住。田崎小4年生から市内のテニスクラブに所属し、田崎中入学後は陸上部に入り、県内外の各種陸上大会・駅伝で活躍。テニスでも県総体ダブルスで2連覇の実力。4月からは鹿児島県城西高校(日置市)に進学予定。(15歳)